

甜茶のパッケージデザイン支援

【相手先企業】

水戸烹丁錦水

【目的】

本県は全国に誇れる原材料を産していながら素材の供給県に甘んじ、魅力的買い物空間づくりと魅力的な商品づくりが課題となっている。地域性をビジネスに結びつける要因のひとつに「健康」がキーワードにあり、地域の資源・技術を活用した開発としてデザイン支援した。

【内容】

1. 製品特性

甜茶：「甘いお茶」の総称で、甜茶ポリフェノールは主としてヒスタミンなど科学物質を抑える働きがある。

エゾウコギ茶：「トゲのある万能薬」とも言われ、主成分は配糖体で鎮静作用と興奮作用の相反した働きをする。

ヤーコン茶：フラクトオリゴ糖はじめ、ミネラル、タンニンや配糖体が含まれ、インスリンと同様の働きをされると言われている。

2. パッケージデザイン

製品特徴である「すっきり感」をイメージし、空と畑をグラフィック表現した。パッケージデザインは「サイレント・セールスマン」とも言われる程、消費者へのコミュニケーション情報として重要で、製品の効果・効用がイメージできるよう、配色とグラデーション技法に留意した。

【成果】

デザインは効果・効用がイメージできるものに仕上がった。地域の資源・技術を活用し、茨城ブランド商品のひとつとして育てたい。

今後の展開として、医療関係のルートにアピールし、花粉症の時期に合わせ全国で販売中である。



基礎となった事業：オンリーワン技術支援事業

新ブランド創造研究会（平成11年度～平成12年度）

担当部署：デザイン開発部 佐藤茂